

若い力で秋の犬山盛り上げ

金城学院大生 観光PR参画

金城学院大（名古屋守 山区）の庫元正博教授（六六）のゼミが、犬山市や市観光協会の観光キャンペーンに



参画することになった。三年生七人が一日、市内の飲食店でメニューの聞き取り調査をし、結果を参考に秋のキャンペーンの企画を練る。

ゼミでは広告やマーケティングを学んでおり、犬山を舞台に机上では得られない学習を目指す。若者のアイデアを望む市や市観光協会とは春にもタッグを組み、犬山観光の課題である夕方以後の誘客案として、パフェを食べておいしく旅を締めくくる「シメパフェ」を提案し採用された。

一日は七人が城下町や犬山駅東、博物館明治村の飲食店を手分けして巡り、各店が秋の観光キャンペーンで推す予定のメニューについて聞き取った。

庫元教授は「学生が提案するだけでなく、提案が効果を上げたのかまで確かめ、実践的な学習の機会にしたい」と期待していた。

（三田村泰和）

店を訪れ、秋のお薦めを尋ねる金城学院大生（右側2人）
|| 犬山市犬山の壽儀屋（じゆひようや） 犬山直営所で

この記事・写真等は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

2019年8月2日 中日新聞社より